

インマヌエル中目黒キリスト教会

2008年12月28日

聖日礼拝

メッセージ

「主は望む港に導かれた」

詩篇107章23節 - 32節

竿代 照夫 牧師

聖書朗読

旧約聖書

詩篇107章23節 - 32節

23 船に乗って海に出る者、
大海であきないする者、

24 彼らは主のみわざを見、
深い海でその奇しいわざを見た。

25 主が命じてあらしを起こすと、
風が波を高くした。

26 彼らは天に上り、深みに下り、
そのたましいはみじめにも、
溶け去った。

27 彼らは酔った人のように
よろめき、
ふらついて分別が乱れた。

28 この苦しみのときに、
彼らが主に向かって叫ぶと、
主は彼らを苦悩から連れ出された。

29 主があらしを静めると、
波はないだ。

30 波がないだったので彼らは喜んだ。
そして主は、
彼らをその望む港に導かれた。

31 彼らは、主の恵みと、
人の子らへの奇しいわざを
主に感謝せよ。

32 また、主を民の集会であがめ、
長老たちの座で、主を賛美せよ。

説教

「主は、望む港に導かれた」

詩篇**107**篇**23**節—**32**節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「主があらしを静めると、
波はないだ。
波がないだので彼らは喜んだ。
そして主は、彼らを
その望む港に導かれた。」

(詩篇107:29)

A. 詩篇**107**篇の成り立ち

1. テーマは、神の救いへの感謝

2. 内容

- 1) 全般的な賛美(1－3節)
- 2) 導き：荒野の彷徨から
(4－9節)
- 3) 釈放：牢獄から(10－16節)
- 4) 癒し：重病から(17－21節)
- 5) 守り：航海中の大嵐から
(22－32節)

2) - 5) の共通点は、

①苦難、②叫び、③助け、④感謝

6) 大いなる回復のみ業への賛美
(33-43節)

3. 強調点(43節)

- 「心に留める」：
神のみ業を深く思い巡らし、
記憶と記録に留める
- 「悟る」：
神の愛と恵みの事実を悟る

B. 大嵐からの救い

1. 地中海貿易の船(23—24節)

2. 嵐と絶望(25—27節)

- ・ 嵐も主の御心による
- ・ 水夫達の絶望

3. 祈りと助け(28—30節)

- ・ 困難は祈りを生む
- ・ 主は嵐を静め給う
- ・ 主は「望む港」に導き給う

4. 主の恵への感謝(31—32節)

- ・ 神の恵みへの感謝
- ・ 神のみ業への感謝
- ・ 公に証しすること

終わりに

- この一年の出来事の一つ一つに心を留めよう
- その背後にある神の恵みを感謝しよう